

2025年度秋学期 東洋大学交換留学

【高度日本語人材育成プログラム／日韓3+1プログラム】概要

◆プログラムの内容と目的◆

【高度日本語人材育成プログラム】

高度日本語人材育成プログラムとは、交換留学制度のスキームを利用して、「高度日本語人材」として、将来、BJT ビジネス日本語能力テストで J1以上を目指す学生を対象にしたプログラムです。留学期間中には、通常の科目履修に加え、ビジネス日本語科目の履修や国内企業・NPO/商工会議所などでのインターンシップ(5日間から 1カ月間)、また国際的な学生交流イベント(SDGs共同学習、国際学生ミーティング、バーチャル模擬国連)等への参加を通じて日本の企業や社会について理解を深めます。

【日韓3+1プログラム】(韓国の大学のみ)

日韓3+1プログラムとは、卒業後、日本での就職を強く望んでいる韓国人学生(留学時3年後期)を対象に、ビジネス日本語の習得や日本国内への就職を支援するプログラムです。留学期間中には、通常の科目履修に加え、ビジネス日本語科目の履修や国内企業・NPO/商工会議所などでのインターンシップ(5日間から 1カ月間)、また国際的な学生交流イベント(SDGs共同学習、国際学生ミーティング、バーチャル模擬国連)等への参加を通じて日本の企業や社会について理解を深めます。

◆出願資格◆

・東洋大学協定校のうち、「東洋大学 世界展開力強化事業(INTER-UNIVERSITY EXCHANGE PROJECT)」の対象大学に所属し、所属大学からの推薦を受けていること。

・学業成績が GPA2.5/4.0以上であること。

・出願時に日本語能力試験(JLPT)の N2相当以上の語学力があること。原則として、日本語能力試験(JLPT)の証明書が求められます。語学スコアも持っていない場合は、所属大学の日本語専攻長が作成した「語学能力証明書」(様式指定)の提出が必要です。

・東洋大学に留学中全期間において、所属大学に在籍していること。

・過去に東洋大学に留学したことがある場合、留学期間が前回と合わせて 1年間を超えていないこと。

◆出願料・授業料◆

・東洋大学へ出願料・授業料を支払う必要はありません。

◆特別なサポート◆

・障がいその他の理由により特別なサポートが必要な場合は必ずオンラインアプリケーションの際に詳細について回答してください。医師の診断書と所属大学からの特別な配慮に関するレターの提出が必要となりますので、詳しい流れについて個別にご連絡します。

◆留学期間について◆

1年間(2025年9月～2026年8月)

※高度日本語人材育成プログラム及び日韓3+1プログラムは、原則1年間のプログラムです。

◆奨学金・宿舎費補助◆

このプログラムに参加する学生は、宿舎費補助(51,000円/月)を受けることができます。かつ、選ばれた学生には更に奨学金(80,000円/月)支給されます。選考時に学業成績や志望理由などを元に総合的に決定し、追って結果をお知らせします。(このプログラムに出願した時点で、自動的に上記の奨学金・宿舎費補助の選考対象となります。申込制ではありません。)

※宿舎費補助は、大学の寮に入居する場合のみに提供されます。個人で手配したアパート等に住む場合は支給されません。

※各大学1名は、宿舎費補助と奨学金の両方を受けることができます。同じ大学から2名以上の出願があった場合は、選ばれた学生のみ奨学金が支給されます。

※2026年8月は、寮に滞在する日数が30日未満となるため、宿舎費補助は付きません。家賃(日割りの金額)とリネン代(2,300円)は自己負担となります。

※[オーストラリアとイギリスの協定校からの学生のみ]このプログラムに参加する全ての学生は、宿舎費補助と奨学金の両方(131,000円/月)を受けることができます。

◆留意事項◆

・出願書類提出後また来日後の留学期間の変更は認めていません。事前に決めたいうで出願してください。

・東洋大学での所属学部は、必ずしも所属大学での学部や専攻と合わないことがありますが、どちらの学部の所属になっても履修できる科目は同じであるため問題ありません。また、大学院生も学部の所属となりますが、条件を満たせば交換留学生履修科目リストにある大学院科目の履修も可能です。

・東洋大学での交換留学期間終了後、2週間以内を目途に、帰国する必要があります。留学期間終了後、そのまま日本に残り、インターンシップ等に参加することはできません。

◆**学年暦**

本学の授業は、学期制(春学期と秋学期)もしくはクォーター制(第1～第4 クォーター)に分けて実施されます。授業期間内に試験が実施されます。

【2025年度学年暦】※2026年度学年暦は決定次第、お知らせします。

学期	春学期		秋学期	
クォーター	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q
授業期間	4/9～6/10	6/11～8/5	9/19～11/20	11/21～1/31
休暇期間	4/28～5/3、8/6～9/18		10/31～11/6、12/23～1/3、 1/12、1/16～1/17、2/1～3/31	

◆**単位制**

1単位は、授業や自習をすべて含めた45時間の学修に対応しており、45時間の学修のうち授業の占める時間は、講義・演習科目は15時間、外国語科目は30時間、実験・実技・実習科目は45時間と設定されています。※1時間を45分とみなします。

授業科目等	単位数	授業回数 (1学期)	学修時間	
			授業時間	予習復習時間
講義・演習科目	2単位	15回	30時間	60時間
外国語科目	2単位	15回	30時間	60時間
実験・実技・実習科目	1単位	15回	45時間	0時間

◆**履修科目数**

日本の査証(ビザ)の在留資格「留学」の規定により、1週間に最低7科目(10時間)以上の受講を求められています。最大履修科目数の上限はありません。

◆**指導教員**

本学で決定した指導教員と、学業面等の相談ができます。

◆**履修可能科目**

日本語/英語能力により、履修できる科目が異なります。

交換留学生は、交換留学生履修科目リストから履修できる科目を選択します。学部で開講されている科目全てが履修できるわけではありません。リストは学期開始の一か月前までに公開します。

専門科目とは：文学部・経済学部・経営学部・法学部・社会学部・国際地域学部・国際学部・国際

観光学部の**交換留学生対象科目**

！留学中に履修したい科目がリストにあるかどうか必ずご確認ください。科目リストに掲載されている

科目のみ、履修が可能です。特に理系の科目はほとんど履修することができません。

以下のリストに掲載されている科目名や科目数は変更となる可能性があります。

履修科目	履修要件	備考
<p>専門科目(日本語開講)※</p>	<p>JLPT N2相当以上</p>	<p>1年間留学の学生で、1学期目に「日本語(NEST科目)」の所定科目を履修・修得し、2相当以上に JLPT N2相当以上の日本語力が認められれば履修可能。</p>
<p>専門科目(英語開講)※</p>	<p>英語(CEFR B2)相当以上</p>	<p>所属大学の授業の主な教授言語が英語のため、出願時に英語のスコア証明書提出が免除された学生は、履修要件に関係なく履修可能。</p>
<p>日本語(NEST科目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Japanese for Beginners Theory ・Japanese for Beginners Practice ・Integrated Japanese Theory ・Integrated Japanese Practice ・Japanese Listening ・Japanese Reading ・Project Work ・Japanese Writing ・ Japanese Culture and Society A/B ・Introduction to Japanology A/B 	<p>ひらがな・かたかなの習得</p>	<p>JLPT N2相当以上の日本語力がある学生は履修不可。 どうしても履修を希望する場合、履修にあたっては日本語教員からの許可が必要。</p>
<p>日本語(外国語科目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語 I A / II A ・日本語 I B / II B ・日本語と日本社会A/B ・日本語と日本文化A/B 	<p>JLPT N2相当以上</p>	<p>1年間留学の学生で、1学期目に「日本語(NEST科目)」の所定科目を履修・修得し、2相当以上に JLPT N2相当以上の日本語力が認められれば履修可能。</p>

科目リストはこちらの URL よりご確認ください。 https://www.toyo.ac.jp/academics/international-exchange/prospective/exchange_program/#epanc07

◆ 成績/単位認定 ◆

◆ 成績評価基準 ◆

ごうひ 合格	せいせきひょうじ 成績表示	ひょうかてんはんい 評価点範囲	きじゆん 基準
ごうかく 合格	S	100～90	とうたつもくひょう じゅうぶん たっせい きわ ゆうしゅう せい か おさ 到達目標を十分に達成し、極めて優秀な成果を収 めている。
	A	89～80	とうたつもくひょう じゅうぶん たっせい 到達目標を十分に達成している。
	B	79～70	とうたつもくひょう たっせい 到達目標を達成している。
	C	69～60	とうたつもくひょう さいていげん たっせい 到達目標を最低限達成している。
ふごうかく 不合格	D	59～40	とうたつもくひょう たっせい こうもく 到達目標を達成していない項目がある。
	E	39以下	とうたつもくひょう こうもく すべ たっせい 到達目標の項目の全てまたはほとんどを達成してい ない。
	*	ひょうかたいしょうがい 評価対象外	しゅつせき しけん ていしゅつなど ひょうかようけん けつかく 出席・試験・レポート提出等の評価要件を欠格

履修登録した科目についてのみ成績評価されます。出席・試験・レポート提出等の評価要件を満たさなかった場合は、評価対象外(*)となります。

◆ 単位付与 ◆

上記成績評価基準で合格に値する科目について、単位が付与されます。

◆ 成績証明書 ◆

交換留学期間終了後に成績証明書の原本または PDF データを各大学のコーディネーターにメールで送付します。(学期終了の約1ヶ月半後。例:8月初旬学期終了→9月送付、1月末学期終了→3月送付)

◆ キャンパス ◆

<https://www.toyo.ac.jp/en/about/access/>

履修可否	キャンパス	学部
○	白山	ぶんがくぶ けいざいがくぶ けいえいがくぶ ほうがくぶ しやかがくぶ こくさいがくぶ 文学部、経済学部、経営学部、法学部、社会学部、国際学部、 こくさいかんこうがくぶ 国際観光学部
×	あかばねだい 赤羽台	じょうほうれんけいがくぶ ふくししやかい がくぶ けんこう か がくぶ 情報連携学部、福祉社会デザイン学部、健康スポーツ科学部
×	かわごえ 川越	りこうがくぶ そうごうじょうほうがくぶ 理工学部、総合情報学部
×	あさか 朝霞	せいめいかがくぶ しょくかんきょうがくぶ 生命科学部、食環境科学部

◆はじめに

東洋大学国際交流**宿舎**「AI-House HUB-4」もしくは「**国際会館**(International House)」に入居することが可能です。

入居申込の案内が、メールで5月頃に配信されますので、指示に従って申し込みをしてください。

各施設により条件が異なります。いずれの宿舎も空室数以上の希望があった場合は抽選とします。

※居住期間や家賃は、変更となる可能性があります。

施設	AI-House HUB-4	国際会館 (International House)
申込	交換留学生本人が専用サイトから申込みます。	
住所	東京都北区赤羽台1-7-37 (白山キャンパスより外口15分+徒歩15分、赤羽台キャンパス内)	東京都文京区千駄木3-2-4 (白山キャンパスより徒歩15分)
居住期間	2025年9月8日～2026年8月8日(1学年間) ※指定された期間より前に入居することはできません。 ※上記の退寮期限は変更になることがあります。	
家賃・居室	<p>98,500円/月額 内訳:家賃 96,000円/月額 寝具レンタル料2,500円/月額</p> <p>・全ての部屋は1人用個室寝室です。 男女でフロアが分かれています。キッチン、シャワー室、トイレ等の共有スペースがあります。</p> <p>※平日の朝食・夕食、光熱水費・インターネット利用料含む。</p> <p>※光熱水費は宿舎費に含まれていますが、大幅な使い過ぎが見受けられた場合には、別途費用を請求する場合がありますので注意してください。</p>	<p>① (1人用寝室)83,500円/月額 内訳:家賃 81,000円/月額 寝具レンタル料2,500円/月額</p> <p>② (2人用寝室)53,500円/月額 内訳:家賃 51,000円/月額 寝具レンタル料2,500円/月額</p> <p>寝室が個室でも、リビング、キッチン、浴室、トイレは他の入居者と共有する場合があります。</p> <p>*空室状況によって、希望の部屋にならない可能性があります。</p> <p>*光熱水費・インターネット利用料含む。</p> <p>※光熱水費は宿舎費に含まれていますが、大幅な使い過ぎが見受けられた場合には、別途費用を請求する場合がありますので注意してください。</p>
家賃の支払	来日後、毎月コンビニエンスストアで現金払い 請求書は、郵送で寮のポストに届きます。	

ほうほう 方法		
しせつ 施設	AI-House HUB-4	こくさいかいかん 国際会館 (International House)
せつび 設備 びひん 備品	<ul style="list-style-type: none"> ○冷蔵庫 ○エアコン ○学習機 ○椅子 ○カーテン ○クローゼット ○Wi-Fi ○ベッド <p>※寝具はレンタル制です。別途料金をお支払いいただきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○バス ○トイレ ○洗面台 ○給湯設備 ○冷蔵庫 ○キッチン ○電子レンジ ○エアコン ○洗濯機 ○乾燥機 ○テレビ ○ベッド ○寝具 ○学習機 ○椅子 ○カーテン ○クローゼット ○テーブル(1人部屋以外) ○Wi-Fi
きょうよう 共用 せつび 設備	<ul style="list-style-type: none"> ○ロビー ○カフェテリア ○共有キッチン ○シャワー室 ○トイレ ○ランドリールーム ○多目的室 ○学習室 ○音楽スタジオ 	○ロビー ○多目的室
かんりにん 管理人 けいびいん 警備員	<p>8:00-19:00 管理人常駐</p> <p>19:00-8:00 警備員駐在</p>	8:00-19:00 管理人常駐
レジデント・アシスタント (RA)	<p>皆さんの生活をサポートするために、東洋大学生のレジデント・アシスタントが居住しています。月に1度RA主催のイベント・教育プログラムも実施しています。</p> <p>AI-House のみ学期に1回、全寮生を対象とした特別プログラムがあります。</p>	
こうつうひ 交通費	11,860円(3ヶ月学生定期券の場合)	徒歩15分のため不要です。
Web サイト	https://toyo.749.cc/aihouse/	https://toyo.749.cc/kokusai/
びこう 備考	<ul style="list-style-type: none"> ・利用規約に合意できない方は入居できません。入居申請時(受入決定後)に合意書を提出していただきます。 ・訪問者の居室への入室はできません。 ・詳細は入居のしおりを確認してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用規約に合意できない方は入居できません。入居申請時(受入決定後)に合意書を提出していただきます。 ・訪問者の居室への入室は、東洋大学生に限られます。 ・詳細は入居のしおりを確認してください。

◆日本での生活◆

◆食事

大学内の学生食堂:約¥550 長期休暇期間や大学の休業日などを除いて、10:00~20:00 まで、月曜日から土曜日まで営業しています。

大学・国際交流宿舎の周辺は、スーパーマーケットやコンビニエンスストア、飲食店が多くある地域です。

◆健康保険

交換留学生は、国民健康保険に加入することが日本の法律で定められています。保険料は月額約1,900円です。この保険の加入により自分で負担する医療費は、本来支払うべき額の30%で済みます。詳細並びに申し込みは、来日後のオリエンテーションの際に行います。また、万一に備え、自国にて任意の海外旅行保険等に加入することを推奨します。

◆学生証

東洋大学から支給される学生証で、学内の図書館、PC室が利用できます。また、旅客運賃、美術館、劇場等の学生割引にも使用できます。

◆銀行口座

来日後に日本の銀行口座を開設することができます。口座の開設には通常2週間前後かかります。また、海外から日本への送金には、非居住者の場合、通常1週間から10日程度かかりますので、日本で使えるクレジットカードを持ってくるようにしてください。

◆クレジットカード

必ずクレジットカードを持参してください。日本でクレジットカードを作成するには、日本での住民登録から6か月以上たたないと、申し込みができません。また、申請から発行まで1か月近くかかり、クレジットカードがないと大変不便です。

◆アルバイト

在留資格「留学」でアルバイトを行う場合は、**入国時に空港**、もしくは後日入国管理局で申請を行います。資格外活動許可証を取得する必要があります。週28時間までのアルバイトが認められます。アルバイトの収入だけでは、留学中の家賃、食費、その他の経費を賄うことはできません。アルバイト以外にも留学費用を賄う方法を確保しておいてください。

◆生活費(家賃以外)◆

[1ヶ月あたり]

食費: 約50,000円～

※AI-House HUB-4に入居する場合は平日朝食・夕食が**宿舎費**に含まれるため、**宿舎費以外**約30,000円～

国民健康保険料: 約1,900円

SIMカード代: 約3,000円～

その他(交通費・交際費等): 約5,000円(定期券代を含めると10,000円)～

[各学期]

教科書・参考書代: 約20,000円～

来日直後の最低限必要な現金として、また万一の備えに15～20万円を用意しておいてください。

※東洋大学の寮に入居する場合は、入寮月に当月と翌月(9月分と10月分)の家賃とリネン代を現金で支払う必要があります。

◆ビザの手続き◆

日本へ入国する際は、「在留資格認定証明書」と「ビザ(査証)」が必要になります。

●「在留資格認定証明書」は、東洋大学在留資格サポートオフィス/Toyo University Support Office for COE and Status of Residence (通称:TUGS オフィス)が申請し、データを送ります。

●「ビザ(査証)」は、みなさんが各自で最寄りの日本の在外公館へ行き取得してください。

◆在留資格認定証明書(COE)

在留資格認定証明書は在外公館での査証の申請時に提示してください。また、日本への上陸審査の際に入国審査官に提出しなければなりませんので、必ずプリントアウトして手持ちの荷物と一緒に持ってきてください。なお、本証明書の発給日から3カ月以内に上陸の申請(入国)をしないときは、効力を失います。

「在留資格認定証明書」とは、外国人が上陸審査の際に日本で行う活動が虚偽のものでなく、かつ、入管法上のいずれかの在留資格(短期(3ヶ月)滞在の在留資格を除く)に該当する活動である等の上陸の条件に適合していることを証明するために、法務省所管の各地方入国管理当局において事前に交付される証明書のことであります。

◆経済支弁

在留資格認定証明書の申請時、日本滞在期間に対して月額15万円程の経済支弁の証明(銀行の残高証明書など)を提出していただきます。

◆査証(ビザ)

査証の発給は、在外公館で行っています。発給までにかかる時間は各国の日本領事館等に確認してください。査証発給から3ヶ月以内に入国して下さい。発給される査証の滞在期間内であれば複数回入国可能な査証です。

*『査証』とは、日本に入国しようとする外国人の入国及び滞在が差し支えないことの判断を示すものです。なお、査証そのものが入国(滞在)許可を保証するものではなく、空港又は海港における上陸申請のための要件の1つとされていることに御留意願います。日本は、他の多くの国と同様に外国人が入国するためには、査証とは別に出入国管理当局の許可を得なければならない制度をとっています。これが上記の『在留資格認定証明書』にあたります。

◆ビザ(査証)の申請について

【申請に必要なもの】

●ビザ(査証)申請書(在外公館の窓口で配布) ●有効なパスポート(旅券)

●写真2枚(45×45mm、6ヶ月以内に撮影したもの) ●在留資格認定証明書 ●入学許可証明書

とこうかんれんじょうほう(ビザ:査証) ※必ず最新の情報をご確認ください。

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/visa/>

◆来日日◆

うけいけつていつうちさいらいにちび
受入決定通知の際に、来日日をお知らせします。オリエンテーション開始前の日程を指定しますの
で、必ずこの期間に来日して下さい。指定日前に来日しても、寮に滞在することはできません。

りょうがい にゅうきよばあいらいにちび にゅうこく
(寮以外に入居する場合も、来日日に入学してください。)

らいにちしていびねんがつにち
(来日指定日:2025年9月8～11日)

◆オリエンテーション◆

りしゅうとうろくにゅうこくかんりくやくしよてつづこくみんけんこうほけんぎんこうこうざかいせつしゆくしや
履修登録、入国管理、区役所手続き、国民健康保険、銀行口座開設、宿舎、キャンパス内・外
での生活についてなど、日本での勉学、生活に関する全ての重要な事項が詳細に説明されます。

こうかんりゆうがくせいかなら
交換留学生は、必ずこのオリエンテーションに参加してください。

◆問い合わせ先◆

【東洋大学国際教育センター】

〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20

TEL: +81 3 3945 7685 E-MAIL: mlies@toyo.jp

【査証(ビザ)に関する問い合わせ】

とこうだいがくざいゆうしあか
東洋大学在留資格サポートオフィス(TUGS オフィス): toyo-pugs@tugs.co.jp